

『レジ袋有料化』10月からスタート

二酸化炭素の排出削減、省資源化およびごみ減量の推進を目的に、10月1日から市内12事業者36店舗において、レジ袋の有料化がスタートしました。

この取組みが、身近にできる地球に優しい行動の第一歩として、私たち一人ひとりのライフスタイルを見直していくきっかけにしていくことが大切です。



買物客にチラシを手渡し、PR活動をする今井会長(左)

有料化によりレジ袋の使用量が減っても、全体としてごみの量が減らなければ、環境にやさしい社会をつくることはできません。市民と事業者、行政の三者がレジ袋有料化を第一歩として、ごみの減量や二酸化炭素削減に一体となった取り組みが必要なのです。

有料化に先がけ、高山市レジ袋有料化協議会が参加事業所の店頭で行ったPR活動では、来店する市民の反応も上々。「予想以上にみなさんがマイバッグを持参してうれしい限りです」と会長の今井久和子さんも手応えを感じている様子でした。

新しい教育委員長に平林英一さんを選任

10月1日に開催された教育委員会において、新しい教育委員長に平林英一さん(川原町)が選任されました。委員長の任期は来年9月30日までです。

教育委員は平林教育委員長のほか、職務代理者の北村剛治さん(山田町)、再任された打江記代さん(桐生町)、新しく就任された弓削陽子さん(国府町)、中村健史教育長の合わせて5人です。



平林英一委員長



弓削陽子委員

問合せ先

教育総務課
☎35-31153

「ふるさと納税」でこれからも飛騨高山を応援してください

個人住民税の一定割合を、育ったふるさとや応援する地域に寄附できる「ふるさと納税」が始まっております。市では「飛騨高山ふるさと基金」を設けてみなさんの寄附金をの寄附金をいただいておりますが、9月30日現在の集計で、102件319万円になりました。

寄附金
300万円
超える

「想い、願い」は、高山のまちづくりに活かします。これからも引き続き、市外の家族や親せき、友人にPRをお願いします。

問合せ先

○寄附の申し出
財政課
☎35-3132
○制度内容
企画課
☎35-3131